

市内最東端、地区 1,428 人で取り組む地域づくり

糸魚川市能生地域、市内で最も東に位置する磯部（いそべ）地区では、近年著しい少子高齢化が進み、特に若者の市外への流出が顕著になっています。

こうした問題を解消し、将来像として掲げる「住みたい！行きたい！育てたい！みんな大好きわくわく磯部」の実現を目指して、地域一体となって磯部地区の地域づくりを進めています。

「磯6クラブ」の発足

もともと集落単位で独自に行っていた地域づくり活動ですが、少子高齢化などの理由で厳しくなってきた中で、集落単位の活動から磯部地区での活動が求められるようになりました。

そして平成 28 年、磯部地区（6つの集落集合体）として将来を見据えた地域づくりを行っていく「磯部地区地域づくり協議会」、通称「磯6クラブ」が結成されたのです。

やっぱ磯部はエエでね

磯6クラブの発足当時は6つの事業が立ち上がりましたが、翌29年4月に再編し、現在、地区の夏祭り等を実施する交流部会、お盆時期の拡大同窓会の開催やUターンの促進に取り組む定住部、ホームページやSNSの更新、毎月の広報誌「磯6クラブ通信」を作成・発行する情報発信部の3部会で活動を展開しています。

地域の抱える課題は深刻ですが、これを克服し、若者が住み続け、こども達は郷土に誇りを持ち、住み慣れた磯部の地でいつまでも元気に、楽しく住み続けられる為にはどうすればよいのか。住民主体による自立と協働の地域づくりを目指し、今後も取り組みを進めていきます。

ふるさと納税を通して、わたしたち磯部地区の活動をぜひご支援ください。

